

哲学（哲学）

1 年次 前学期	授業科目責任者：高島 明（兼任講師），1 年次学年教育主任
----------	-------------------------------

学習の目標 (GIO)	<p>次の三つの問題を哲学で取り上げる。 哲学と哲学教育のあり方を巡って 今までの大学での哲学教育のあり方を振り返って、日本の精神風土に合った、「優しい」哲学を模索する。「反哲学」という言葉が最近使われるが、この言葉の意味も説明する。 労働観について 働くことの意味が時代とともにどのように変わってきたのかを考察する。働くことは生きることでもある。 自己実現のための哲学 哲学を学ぶということはどのような意義があり、これが自己実現にとってどのように役に立つのかを考察する。</p> <p>【到達目標】 どのような人生を送りたいのかの生涯設計がたてられるようになること。</p>
授業担当者	高島 明*
教科書	『生きることと愛すること』高島明 著（手作りのテキスト）
参考図書	『ロゴスと神話』高島明（共）増補版 高文堂出版社 『清貧の思想』中野孝次 草思社 『二十世紀からの手紙』オーラブ・ハンセン著 山本隆久・高島明共訳 シャローム印刷
実習器材	なし
評価方法 (EV)	試験の結果（6割程度）と授業への貢献度（4割程度）を総合的に判断して評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>学生の特権は時間が沢山あり、物質的に貧しいこと。この特権を通して、本当の意味での「豊かさ」について学んで頂きたい。</p> <p>【履修上の注意】 3分の2以上授業に出席すること。 授業の終わりに、次週行う箇所をいうので前もって予習しておくこと。学んだ箇所は復習すること。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月9日(火)	ガイダンス	一般教育と専門教育の違い。なぜ一般教育が必要なのか。	高島明
4月16日(火)	哲学理解を妨げている三つの原因	哲学理解にとって、何が必要なのかを考える。哲学が誕生したその背景を考察する。	同上
4月23日(火)	哲学のあり方を巡って	哲学的問題とは何か。哲学的問題と科学的問題と宗教的問題の違いを考える。	同上
5月7日(火)	哲学の歴史性(1)	時代ごとの哲学の主題の変化を知ること。	同上
5月14日(火)	哲学の歴史性(2)	古代ギリシャの哲学：ソクラテスとプラトン 理性と感性の調和の重要性。	同上
5月21日(火)	哲学の歴史性(3)	アリストテレスの論理学を学ぶ。演繹推理・帰納推理・アナロジーの特徴。	同上
5月28日(火)	働くことの意味	働くことが個人と社会にどのような意味があるのか。	同上
6月4日(火)	労働観(1)	旧約聖書と古代ギリシャの労働観と、ルターとカルヴァンの労働観。	同上
6月11日(火)	労働観(2)	ヘーゲルの「奴隷と主人」の労働観とマルクスのいう疎外論。 働くことは人間性の向上に貢献しているのか。	同上
6月18日(火)	自己実現とは	自己実現は他者と社会との係り合いを通して可能となる。自己と一致するとは、どのようなことなのか。	同上
6月25日(火)	ハイデッガーの哲学(1)	考えるとは回想である。	同上
7月2日(火)	ハイデッガーの哲学(2)	「貧しさ」とは、「簡単(素)なものへの勇気」である。 精神的な豊かさのためには何が求められるのか。	同上
7月9日(火)	「脱工業社会」のライフスタイル	「前工業社会」「工業社会」「脱工業社会」の価値観の変遷。 「脱工業社会」の価値観に相応しい生き方の模索。	同上
7月16日(火)	平常試験	平常試験	同上
9月10日(火)	まとめ	まとめ	同上